

補助金評価シート(平成21年度実績分)

(1) 補助金事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名(補助金名)				担当課		担当係名		所属長(課長等)名		担当者係長名					
95023	勤労者互助会補助金				産業振興課		商工振興係		中村良治		赤羽幸恵					
					一次評価年月日		平成 22 年 6 月 30 日	連絡先〔内線〕	2146							
補助金事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)			会計区分			事業コード	事業名(歳出予算見積書)								
				☒	一般	□	特別	0704 労政事業								
	第四次総合計画後期基本計画 の施策体系における位置づけ			章		(コード選択)		4章	21世紀に伸びる産業							
				節		(コード選択)		2節	安定的な雇用を確保する							
				項〔基本施策〕		(コード選択)		421	就業機会の拡大と安定化							
				主な取り組み		(コード選択)		4212	求職情報等雇用の拡大・安定に関する情報の提供							
	関連する計画等への位置づけ			□	第四次行政改革大綱			□	3ヶ年実施計画		□	主要業務報告				
	補助金の期間			□	単年度		☒	継続 (開始)		S61	年度 ~ (終了予定)		□ 年度			
	補助金の性質			□	事業費補助		☒	団体運営費補助		□	大会運営費補助		□ 利子補給			
	補助金の交付基準			□	法令		□	条例規則		☒	要綱 等		□ 契約書 (規則等の名称:)			
	補助金の算定方式			□	予算補助		□	決算補助		□	定率補助		□ 定額補助			
	補助金の財源内訳			☒	町単独補助		□	国・県補助あり		(町 10 / 10)	(県 / 10)		(国 / 10)			

(2) 補助金事業の内容(目的と手段を把握します。) [Plan2]

①対象(～に対して)……この補助金事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
□ 一部事務組合等 □ 公益法人 □ 企業や団体 □ 個人
(交付団体名 : 町内の中小企業に勤務する勤労者及びその事業主)
②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。
福利厚生の増進を図る。
③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。
1 共済給付事業を行う。
2 福利厚生事業を行う。

(3) 補助金事業の実績 [Do1]

区分				単位	実績値		計画値		最終目標年度		
					20年度	21年度	22年度(見込み)		23年度	年度(見込み)	
①	指標名	共済給付事業			件	15	13	15		15	
	説明	共済給付事業			目標値設定の根拠	H20の数値を見込む					
②	指標名	福利厚生事業				32	159	159		159	
	説明	町内施設利用			目標値設定の根拠	H20の数値を見込む					

(4) 交付額実績/計画の推移 [Do2]

				平成20年度				平成21年度				平成22年度				平成23年度													
事業費(円)				230,000				230,000				230,000				230,000													
補助率(町負担分)				100%				100%				100%				100%													
町交付額(円)				230,000				230,000				230,000				230,000													
財源内訳	国庫支出金																												
	県支出金																												
	地方債																												
	その他																												
一般財源				230,000				230,000				230,000				230,000													
人件費の概算												(千円)				平成20年度決算													
対前年比												%				平成21年度決算													
																平成22年度見込み													
																平成23年度見込み													
町職員(正規職員)				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12	0.12	0.00	0.00	0.00	0.21	0.12	0.12	0.12	1,756	1,052									
臨時職員				人數及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				0.00				0.00				0.00				0	0								

(5) 補助金の効果の評価 [Check]

必要性	町民のニーズ（団体の活動が町民に求められているか） 社会情勢上必要か	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない	〔理由〕	中小企業独自で行えない労働者の福利厚生が安価（300円）な掛け金で行える。
			A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である		中小企業のために必要である。
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	B	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある	〔理由〕	中小企業の労働者が対象である。
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある	〔理由〕	勤労者や事業主が安心して働く環境づくりや、中小企業の振興発展に寄与している。
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である	〔理由〕	成果の数値は決算書・事業報告書で示すことができる。
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない	〔理由〕	会員にサービスの提供が出来た。
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている	〔理由〕	交付されている。
その他	これまでに見直し実績はあるか	A	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない	〔理由〕	事業所、会員数の減少に伴いH18年度に見直しを行った。
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		中小企業の労働者の福利厚生を図ることにより雇用の安定化につながり、町の発展につながる。		

(6) 改革改善 [Action]

今後の方向性（上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。）□を一つチェックしてください。

A. 現状のまま継続する B. 見直しのうえで継続する C. 終期設定 D. 廃止 E. 休止



〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ□を一つチェックしてください)

a 増額する
 b 減額する
 c その他（隔年対応等）



（ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください）

時期（年度）	
--------	--

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)	22年度予算見積書への反映	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし
会員多数が参加できる厚生事業を、会員の意見を取り入れながら実施する。	〔反映内容〕		

(7) 所属長 所見（事務事業の総合評価及び今後の方向性について）

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)	上位の施策の推進に貢献していますか。□をチェック
中小企業等の福利厚生のため継続実施	<input type="checkbox"/> A. 貢献度 大 <input checked="" type="checkbox"/> B. 貢献度 中 <input type="checkbox"/> C. 貢献度 小 <input type="checkbox"/> D. 上位施策なし

（今後の方向性 □を一つチェックしてください。）

A. 現状維持 B. 見直しのうえで継続する C. 終期設定 D. 廃止 E. 休止



□ 上記 a ~ c を選択